



飯綱・戸隠・軽井沢・沖縄： 連合長野6月の活動を集

自然環境は宝・保護は人類の使命

飯綱・戸隠で2014環境見学会を実施

6月12日(木)、国民運動環境委員会では「2014環境見学会」を開催し、43名が2班に分かれ長野市内の「長野森林資源利用事業協同組合お山の発電所」「戸隠森林植物園」「連合長野の森」の3か所を見学した。

〔1班の感想〕上伊那地協・平澤光副事務局長

お山の発電所は間伐材等の木材をチップにし燃料とした地産地消型の火力発電所です。現在は2基の発電所で2800KWの発電量があり、志賀高原のスキー場などに売電しており、今後は長野市役所新庁舎等の電力として地元長野市に売電予定とのこと。

設備稼働に際してはトラブルを未然に防止するためのメンテナンスに気を配っているなど

の苦勞もお聞きました。

戸隠森林植物園では自然林の保水量の豊かさに驚き、連合長野の森では人工林は人の手で育てていく大切さを感じました。

長野県は森林資源が豊かなところですが、豊かなまま次の世代に渡してゆくことが大切なことだと思います。

〔2班の感想〕上小地協・堀憲一地協アドバイザー

森林資源の宝庫飯綱・戸隠は、その森になるべく手を加えず保護している森林植物園、間伐材・廃材を利用した発電エネルギー利用、そして連合の森では22年前植樹した木が、44年後の利用につなげるべく(現在も二酸化炭素を吸って酸素を吐き出しているが)息の長い取り組みを肌で感じさせていただき、現代の化石燃料の莫大な消費社会に對しどう向き合っていくか、色々と考えさせ

られる体験をさせていただきました。

人類が破壊してきた地球の自然環境を少しでも元に戻すべく行う取り組みは、コスト・時間がかかってもやらなければならない、未来の子供たちにつなげ・残していかなければならないと思います。



平和への祈り、
沖縄から

2014 平和行動 in 沖縄



連合では6月～8月の「平和運動強化期間」に合わせ、6月23日(月) から25日(水)にかけて「2014平和行動in沖縄」を行った。

連合長野からは師玉憲治郎副会長(UAゼンセン)を団長に11名が参加。那覇市民会館での平和集会をはじめ、米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本改定を求める集会・デモ行進や、普天間や辺野古といった地を実際に訪れることで沖縄の米軍基地移転問題にも触れ、参加者は過去から現在に至る沖縄の平和問題について多くのことを学んだ。

【団員一矢崎 泰子(連合長野・諏訪地協事務局)】

太平洋戦争末期の沖縄での地上戦が終結した6月23日。20万人の犠牲者のうち、軍人の死者をはるかに上回ったのが民間人だ。69年前のこの日、当時生き残った人々はどうの思いでこの日を迎えたのだろうか。肉親を失い、働き手を失い、焦土と化したこの島で呆然と立ち尽くす人々に思いを寄せた。青い海、青い空、陽気な人々、自然豊かなこの島で、繰り広げられた惨劇。誰が想像できただろうか。

あれから69年経った今、米統治下に置かれた沖縄は返還こそされたものの、この小さな島に、国内の米軍施設の大半が集中している現実。普天間移設に於いては、多くの県民が反発しているにもかかわらず、辺野古の埋め立て工

事が着手されようとしている。いつまでたっても沖縄だけが課せられた問題であり、県民の声は政府に届いていない。

慰霊の日に延べた安倍首相の言葉「基地負担を軽くするため、県民の気持ちに寄り添いながらできることは全て行う」……何故か、むなしく耳をかすめる。

戦争で犠牲になった人々の御霊が、どうか安らかでありますように。

日本が戦争への道を歩むことのないよう不戦の言葉を胸に刻みます。



2014平和オキナワ集会
(那覇市民会館、6月23日)

【団員一佐野 亮一(JAM甲信・ミスズ工業労組)】

6月23日、この日は沖縄の方々にとっては特別な日である。69年前沖縄の地に米軍が侵略し、多くの命が失われた日。慰霊の日である。

現在、沖縄では①基地移転問題、②日米地位協定が大きな課題となっている。基地移転問題においては沖縄県民でも賛成派、反対派が同じ地で暮らしているという現実。この問題に関してはどちらも結論の重みを感じた。オスプレイ、戦闘機が低空飛行している轟音。以前、プライベートでこの地を訪れた時は、どこか他人事と

して見ていたのだろう。

日米地位協定においては、日本の土地にありながら日本の法律が適用できない事の不条理さ。ここに沖縄の本当の姿、苦悩があるのだと感じた。沖縄は日本国であり、県民は日本人である。集団自決したその瞬間を想像するに惨劇が目に見え、その事に目を背ける事無く戦争の恐ろしさ、空しさを訴えて行きたい。また戦争も原爆の被害を経験した国だからこそ、世界に人の命の大切さを訴えて行きたい。

ZENROSAL NEWS



暮らしのトータル保障は セット加入で安心。

火災共済	自然災害共済
交通災害共済	団体生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

**保障のことなら
全労済**

全労済長野本部 (長野県労働者共済生活協同組合) 161485004 14.07



軽井沢で初めての体験尽くし ユースラリー in 軽井沢を実施



連合長野青年委員会は6月21日(土)、軽井沢において、「職場や地域を越えた交流の推進・意識の醸成」を目的としたユースラリーを実施。11の構成組織から41名が参加した。

今回は「地域の食とスポーツを考える」をテーマに、カーリングとジャム作りを体験。軽井沢アイスパークでのカーリング体験では、カーリングというスポーツの楽しさだけでなくその奥深さにも触れ、基本的な練習以外に模擬試合も行ったことで参加者全員が楽しんだ。

沢屋ジャムファクトリーではルバーブという作物をベースに、実際のジャム作りを体験したほか、職員の方の案内で、工場内でジャムが製品化されていく行

程を見学させてもらった。

参加者からの感想としては、カーリング、ジャム作りともに「初めての経験だった」という人が多かったが、「実際にカーリングをやってみたら、思っていたよりも楽しかった」「周りの人と協力して、おいしいジャムができた」「普段だったらできないような貴重な体験をさせてもらい、勉強になった」と好評であり、楽しく学ぶことができる良い機会となった。



カーリングの様子
(軽井沢アイスパーク)



ジャム作りの様子(沢屋ジャムファクトリー)

私たちの一票が、政治を動かすエネルギーになります!

—2014 長野県知事選挙—

今夏、長野県知事選挙が8月10日(日)投開票の日程で行われます。

選挙権は私たちの重要な権利であり、私たちの一票の力こそが政治を動かすための原動力となります。今後の長野県の動向を左右する選挙でありますので、多くの皆さんに投票所へと足を運んでいただき、候補者への投票を通じて政治への積極的な参加をお願いします。

※期日前投票もやっています!!

8月10日は
投票へ!!



ろうきんのカードローン マイプラン

ろうきんの「マイプラン」が選ばれる理由は何と言っても、その金利の低さ。
金利が低いから、
はじめての方でも、もちろん安心です!

●表示金利は、2014年6月2日現在の金利です。●お借入金利は、お取引内容や審査結果等により異なります。●金利引き下げ制度:住宅ローンをご利用の方...年0.1%、給与振込(当金庫システムにて給与判定可能なご契約)のご契約がある方...年0.1%を店頭表示金利からお引きいたします。●審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合がございます。●事業性資金・投機的資金としては、ご利用いただけません。●ご契約期間は1年ごとの自動更新となります。●店頭にて説明書をご用意しております。●詳しくはお近くの(長野ろうきん)にお問い合わせください。

会員労働組合 ご加入の 組合員の方	(保証料込み) 最大引下げ後金利 年 2.7% ~ 年 4.7% 店頭表示金利
一般勤労者 の方	(保証料込み) 最大引下げ後金利 年 3.1% ~ 年 5.1% 店頭表示金利

※審査内容により、年5.9%の金利が適用となる場合があります。

ご利用限度額：最高300万円(10万円単位) 変動金利型
*所属会員、雇用形態により異なります。

カードローン「マイプラン」はお借入れ総額が法律で規制される「総量規制」の対象外です。

ご融資の相談は フリーダイヤル 0120-1919-48 平日/9:00~17:00 土・日曜日/10:00~17:00
[祝日及び振替休日(土・日曜日が祝日の場合は営業)、年末年始(12月31日~1月3日)、ゴールデンウィーク(5月3日~5月5日)を除く]

長野ろうきん 検索

インターネットで「マイプラン」の仮審査お申込ができます。

TOPICS



南木曾町を突然襲った衝撃 連合長野ボランティアを派遣

7月9日(水)南木曾町では大雨に伴う土石流が発生し、多くの世帯に家屋損壊・床下浸水等の被害が出た。多くの住民は安全な場所へ避難することとなったが、この災害によって男子中学生1名の生命が失われた。

この被害を受け、県内外からボランティアが集結。連合長野でも16日(水)と18日(金)にボランティアを派遣し、土砂の撤去作業等の災害復興にあたった。

多くの人の協力により19日(土)に現地の「災害ボランティアセンター」を閉所したことで活動は一段落した



が、自然災害の恐ろしさを改めて感じる事となった。

犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、今もなお必死に頑張っている被災者の方々に思いを馳せつつ、もう一度私たちに何ができるのかを考えながら行動していくことを誓い合いたい。

南木曾町ボランティア活動に参加して (連合長野木曾地協事務局・松原 真美)

7月9日、身近な地域に起こった豪雨災害を前にして、中学生の命まで奪われた現実がとても痛い思いでした。

何もせずには居られないという思いでボランティア活動に参加させて頂きましたが、現場に横たわる瓦礫・大きな石ころ・大木…を見ると自分の力などとても小さな物にも思え、余計に微力さと虚しさを覚えました…。

亡くなられた中学生のご冥福と、一刻も早い地域の皆さんの日常生活が戻る事を願って止みません。



ボランティア第1陣(7月16日)



ボランティア第2陣(7月18日)

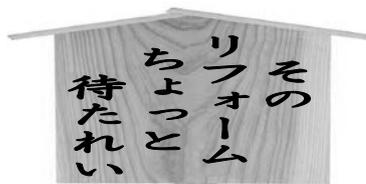
住まいの健康維持から快適空間の演出までトータルプロデュース

住まいについて悩んでいませんか?

○浴室・トイレが古い ○廊下が狭い ○最新設備が欲しい
などのお悩みをお持ちの方



こんなご時世、
って聞くとちょっと不安になりますよね。
そんな時は非営利団体の生協組織の
長野県住宅生協にご相談下さい。



「相談先がわからない」「業者は信頼できるか」
「費用は適正だろうか」などの不安や
心配をしている皆様の要望に応える為
「安心・安全・良質で低廉な事業提供」を
モットーに実施しています

住宅生協は組合員の出資で設立された非営利団体です。

長野県労働者住宅生活協同組合

本部 長野県知事(9)2490号

TEL.026-234-0283

F380-0838 長野市東町523 ちよつとビル7F jyusei@avis.jp

松本事務所

〒390-0841 松本市津1丁目2-1

TEL.0263-88-5061

ホームページもご覧ください

長野県住宅生協 | 検索

http://www.jyusei.jp/